

日本ニュージーランド学会

Newsletter No.100

May 3rd, 2017



薫風の候、会員の皆様におかれましてはご清栄のことと存じます。

4月8日には、早稲田大学にて第77回研究会が開催されました。6月17日には、東北公益文科大学にて駐日ニュージーランド大使 ステイブン・ペイトン閣下をお招きして第24回研究大会が開催される予定です。皆様のご参加をお待ち申し上げております。

● 報告

1. 第77回研究会（日本ニュージーランド協会との合同研究会）

日時：4月8日（土）

会場：早稲田大学（19号館7階713会議室）

第1報告

山岡道男（早稲田大学）

「デアウテ・カレッジについて」

第2報告

新里卓（日本外国語専門学校）

「オセアニア言語と沖縄方言における直示表現の社会言語学的分析」

第3報告

小松隆二（白梅学園理事長）

「日本ニュージーランド学会の回顧と展望」

*研究会終了後は、「欧風料理キッチン Bistro Atton」にて小松隆二先生叙勲祝賀会が開催されました。

● お知らせ

1. 第24回研究大会・総会

日時：6月17日（土）

場所：東北公益文科大学

*詳細につきましては別紙をご参照ください。

2. 第78回研究会

10月に開催を予定しておりますが、詳細につきましては、8月発行のNLをご覧ください。

● ニュージーランドに関する新刊著書について

『オーストラリア・ニュージーランド文学論集』三神和子編著（2017年3月）彩流社

<<http://www.sairyusha.co.jp/bd/isbn978-4-7791-2298-9.html>>

*澤田真一理事が「第7章 ウィティ・イヒマエラと命の文学」、サワダ ハンナ ジョイ会員が「第8章 広島を目撃したマオリ詩人ホネ・トゥファアレ」を執筆されています。

*会員の皆様により発刊されたニュージーランドに関する新刊著書・論文につきまして、ニューズレターにてご紹介させていただきます。掲載を希望する方は、著者名、書名、発行所、発行年月日（英語文献の場合は、CMS（Chicago Manual of Style に準拠）を事務局までお知らせください。

*連絡先：<jsnzs_jimukyoku@jsnzs.sakura.ne.jp>

*書式例：

（著書）

小松隆二『ニュージーランド社会誌』東京：論創社，1996年。

（論文）

斎藤達雄「ニュージーランドに今を生きる」『ニュージーランド・ノート』（東北公益文科大学ニュージーランド研究所）第2号，2003年，1-8頁。

（英語論文）

Watanabe, Yutai. “New Zealand Attitudes towards Foreign-accented English.” *Te Reo* 51 (2008): 99-127.

● 既刊学会誌の閲覧

*J-Stage への移行に伴い、Cinii からデータの移動作業中です。本学会誌第23号につきましては、下記のサイトより閲覧可能です。

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jsnzs/-char/ja/>

● 学会費納入のお願い

2017年度（2017年4月1日－2018年3月31日）分の学会費（4,000円）の納入をお願いいたします。納付先は以下の通りです。

郵便振替 00130-3-425301 日本 NZ 学会

*お納めいただいた年会費は、研究会や国際シンポジウムの開催、学会誌やニューズレターの発行、ホームページの運営等の活動事業に使用しております。学会の健全な財政維持のため、年会費未納の方は過年度分も含め、上記の口座にお振込ください。よろしくお願いたします。

（過年度分につきましては、「通信欄」に年度の記載をお願いいたします。）

*先回のNLに同封の「会員動向票」につきまして未提出の会員の方は、ご提出を宜しくお願申し上げます。

日本ニュージーランド学会事務局：

〒169-0051

東京都新宿区西早稲田 1-21-1

早大西早稲田ビル 6階 616室

山岡道男研究室内（事務局長：山本英嗣）

Tel: 03-5286-1872

Email: jsnzs_jimukyoku@jsnzs.sakura.ne.jp（事務局）

HP: <http://www.japan-nz-academic-society.org/>



日本ニュージーランド学会 第24回研究大会・総会（及び理事会）

1. 日時

2017年6月17日（土曜日）

研究大会：午前10時30分～午後4時30分

総会：午後4時30分～5時

懇親会：午後5時30分～午後7時30分

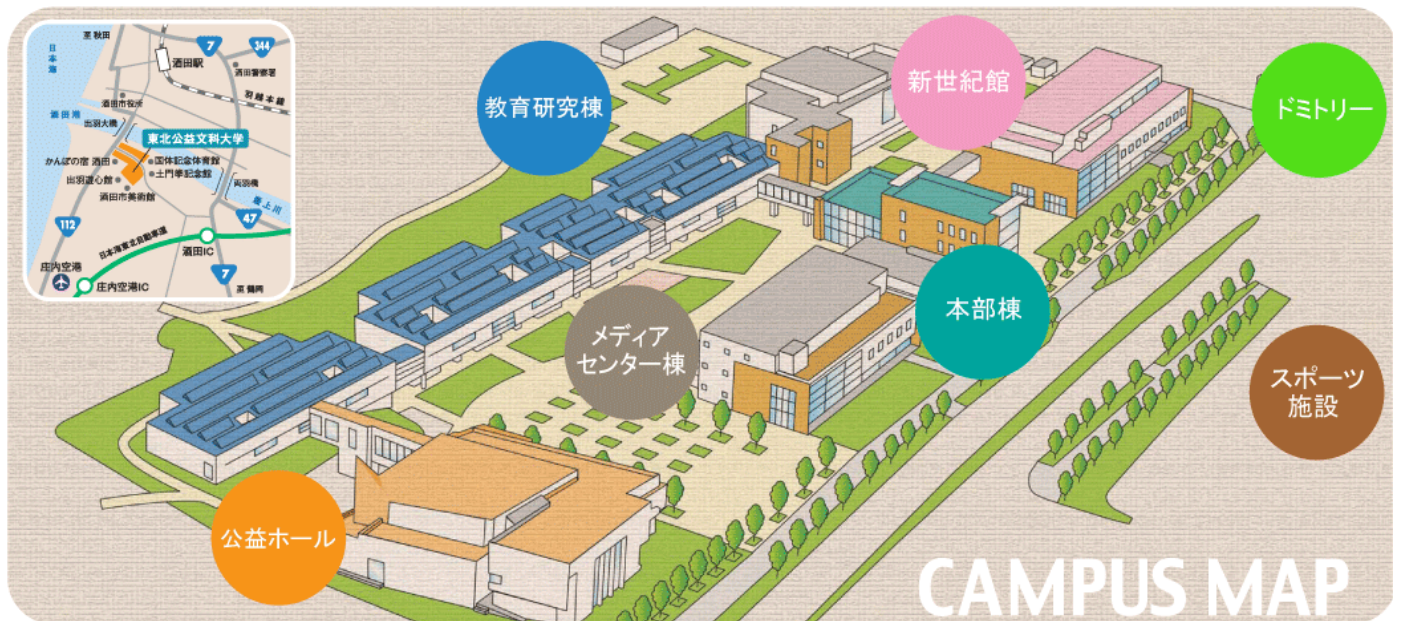
理事会：午前11時45分～13時

2. 会場

東北公益文科大学酒田キャンパス・大教室（301教室）

〒998-8580 山形県酒田市飯森山 3-5-1（代表：0234-41-1111）

URL：http://www.koeki-u.ac.jp/facilities/education_building.html



3. 内容

<午前の部 午前10時30分～午前11時20分>

研究報告

梶山国宏氏（阪南大学経済学部教授）

「ニュージーランドの貿易構造と対外経済政策」

コメンテータ：未定

<午後の部 午後1時30分～午後5時>（総合司会：武田真理子）

基調講演 午後1時30分～午後2時20分

駐日ニュージーランド大使 ステューブン・ペイトン閣下

「ニュージーランドと日本～近年の交流について～」

シンポジウム 午後2時30分～午後4時30分

テーマ：「ニュージーランドと日本のスポーツ交流の過去・現在・未来」

（酒田市 2020年東京オリンピック・パラリンピック ニュージーランド・トライアスロンチーム）

ホストタウン登録記念シンポジウム)

シンポジスト： (コーディネーター 澤邊みさ子)

1. アレキサンダー・ベネット氏 (関西大学国際部教授)
「武道を通じたニュージーランドと日本の交流の歴史 (仮)」
2. 宮崎智世氏 (駐日ニュージーランド大使館エグゼクティブオフィサー)
「ニュージーランドと日本のスポーツ交流の現在 (仮)」
3. 澤邊みさ子 (東北公益文科大学教授)
「ニュージーランドにおける障害者の社会参加とスポーツ (仮)」

総会 午後 4 時 30 分～午後 5 時

懇親会 午後 5 時 30 分～午後 7 時 30 分

場所：東北公益文科大学新世紀館 3 階ファカルティ・クラブ

会費：一般 3000 円，学生 500 円 (要予約)

4. 問合せ・申し込み先

第 24 回の研究大会 (山形県酒田市) に参加ご希望の方は①氏名，②ご所属先，③懇親会の出欠を下記メールアドレス，もしくはファックス宛に 6 月 10 日までにご連絡下さい。また，メールでも受け付けております。

ファックス番号：0234-41-1184

メールアドレス：takeda@koeki-u.ac.jp

5. ホテルと交通

(1) ホテル

①「ホテルリッチ&ガーデン酒田」

〒998-0834 山形県酒田市若竹町 1-1-1

電話：0234-26-1111 Fax: 0234-26-1119

E-mail：info@richgarden.co.jp

URL：http://www.richgarden.co.jp

*大学最寄のホテルです (大学・ホテル間はタクシーで約 5 分。バスもありますが，時刻をご確認ください)。

②「ホテルイン酒田駅前」(「酒田」ではなく「酒田駅前」ですのでご注意ください。)

〒998-0023 山形県酒田市幸町 1-10-20

電話：0234-26-8800 Fax: 0234-21-0885

URL: http://www.hotellinn.jp/ekimae/

*JR 酒田駅前のホテルです (大学・ホテル間はタクシー約 10 分。バスもありますが，時刻をご確認ください)。

(2) 交通

①空路 (2017 年 6 月分)

往路：羽田⇒庄内

第 1 便：ANA393 便 06:55⇒07:55

第 2 便：ANA395 便 11:00⇒12:00

第 3 便：ANA397 便 15:55⇒16:55

第 4 便：ANA399 便 20:20⇒21:20

*リムジンバスが「公益文科大学前」(大学へ行く場合),「山居町」(又は「ホテルリッチ&ガーデン」)
(ホテルリッチ&ガーデンへ行く場合),「酒田駅前」(ホテルイン酒田駅前へ行く場合)に停車します。

復路：庄内⇒羽田

第1便：ANA394便 07:10⇒08:15

第2便：ANA396便 08:40⇒09:45

第3便：ANA398便 12:50⇒13:55

第4便：ANA400便 17:50⇒18:55

*リムジンバスは往路と同様。

②JR

(時刻は各自お調べください。)

JR 東京駅－(上越新幹線)－JR 新潟駅－(羽越本線)－JR 酒田駅(約4～5時間)

JR 東京駅－(山形新幹線)－JR 新庄駅－(陸羽西線)－JR 酒田駅(約4～5時間)

③酒田駅から東北公益文科大学間の福祉乗り合いバス(るんるんバス)の運行

酒田市ホームページより「酒田駅大学線」の時刻表をご確認下さい。

<https://www.city.sakata.lg.jp/sangyo/kotsu/runrunbas/fukushibus-jikokuhyo.html>